

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年10月26日まで（2011年6月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	US成長株オープン（円ヘッジなしコース）	US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）受益証券およびマネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券
	US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）	米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・ポートフォリオ マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を実質的な主要投資対象とします。	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・公社債に係る運用の指図は、債券買入現先取引（売戻条件付の買入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）以外は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年4月26日および10月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

US成長株オープン （円ヘッジなしコース）

第10期（決算日：2016年4月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「US成長株オープン（円ヘッジなしコース）」は、去る4月26日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

US成長株オープン（円ヘッジなしコース）のご報告

◇最近5期の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）	14
◇マネー・ポートフォリオ マザーファンド	20

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率					
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
6期(2014年4月28日)	16,817	200	8.3	0.0	—	—	99.0	2,260
7期(2014年10月27日)	18,454	250	11.2	0.0	—	—	99.0	1,869
8期(2015年4月27日)	21,646	250	18.7	0.0	—	—	99.0	2,019
9期(2015年10月26日)	21,671	250	1.3	0.0	—	—	99.0	1,889
10期(2016年4月26日)	19,709	0	△ 9.1	—	—	—	99.0	1,720

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 比	純 資 産 額
	騰 落	率					
(期首)	円	%	%	%	%	%	
2015年10月26日	21,671	—	0.0	—	—	99.0	
10月末	21,908	1.1	0.0	—	—	99.0	
11月末	22,397	3.4	0.0	—	—	99.0	
12月末	21,846	0.8	0.0	—	—	99.0	
2016年1月末	19,423	△10.4	0.0	—	—	99.0	
2月末	18,922	△12.7	0.0	—	—	99.0	
3月末	19,683	△ 9.2	—	—	—	99.0	
(期末)							
2016年4月26日	19,709	△ 9.1	—	—	—	99.0	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

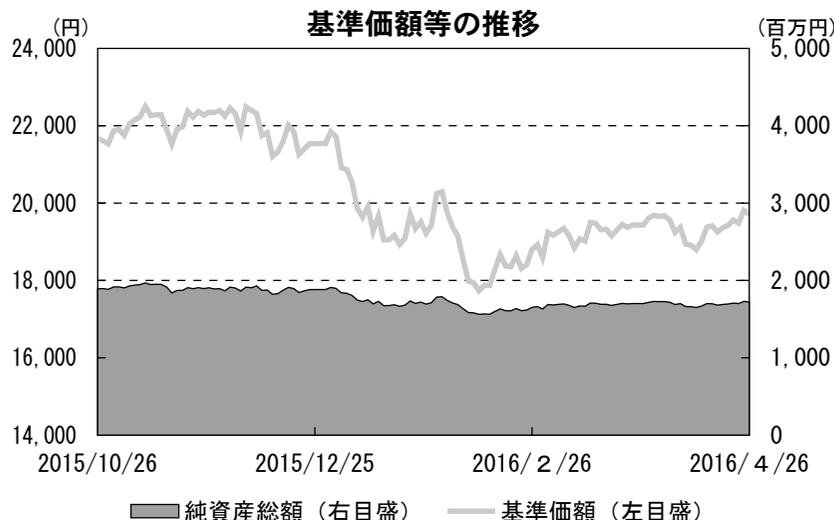
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第10期：2015/10/27～2016/4/26）

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ9.1%の下落となりました。
---------	--------------------------



第10期首	: 21,671円
第10期末	: 19,709円
既払分配金	: 0円
騰落率	: -9.1%

基準価額の主な変動要因

下落要因

情報技術セクターやヘルスケアセクターなどの関連銘柄（テクノロジー関連メーカーのアップルやバイオ医薬品会社のバーテックス・ファーマシューティカルズなど）の株価下落や、米ドルの対円での下落などが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第10期：2015/10/27～2016/4/26）



(注) グラフの数値は、ファンドの基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を使用しています。

(注) Russell 1000 Growth Indexについては、後記「指数に関して」をご参照ください。

◎株式市況

- ・期を通してみると、米国株式市況は上昇しました。
- ・米国株式市場は、期初から2015年末までは、原油価格の下落やパリ同時多発テロ、欧州中央銀行（ECB）による追加金融緩和策の実施及び米連邦準備制度理事会（FRB）による9年半ぶりの利上げなどに影響されたものの、レンジ内での推移となりました。2016年に入り、サウジアラビアがイランと断交したことにより地政学リスクが高まったことや中国経済に対する減速懸念の再燃、原油価格の急落、欧州大手金融機関に対する信用不安の浮上などから、投資家心理が急速に悪化し、米国株式市場は大幅下落しました。2月中旬以降、原油など商品価格の底入れや中国の景気刺激策への期待、米国の追加利上げ見通しが遠のいたことなどから、期末にかけて、上昇しました。



（出所：Bloomberg）

◎為替市況

- ・期を通してみると、米ドルは対円で下落しました。
- ・2015年12月にFRBが9年半ぶりの利上げを実施したものの、世界景気の減速懸念や金融市場の混乱などを背景に、安全資産とされる日本円が買われたことや米追加利上げ観測の後退などから、米ドルは対円で下落しました。

（注）グラフの数値は、ファンドの基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を使用しています。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用開始を受けて、足元ではマイナス0.08%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。2016年1月の日銀の金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると一時的にマイナス0.2%程度まで急低下したものの、急低下の反動からマイナス0.1%程度まで上昇しました。その後、再び低下傾向となり、足元ではマイナス0.3%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜US成長株オープン（円ヘッジなしコース）＞

- ・期を通じて、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資も行いました。

＜US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）＞

- ・主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行いました。
 - ・時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行いました。
 - ・ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行いました。
 - ・引き続き、利益成長が期待されるアップル、広告収入や利用者数の伸びと収益化が期待されるフェイスブックークラスA、オンライン通販やクラウドコンピューティングなどの収益が期待されるアマゾン・ドッド・コムなどを組み入れました。
 - ・保有している情報技術セクターやヘルスケアセクターなどの関連銘柄（テクノロジー関連メーカーのアップルやバイオ医薬品会社のバーテックス・ファーマシューティカルズなど）の株価下落、米ドルが対円で下落したことなどがマイナスに作用し、基準価額は下落しました。
- （注）当記載は、US・グロース・ストック・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

（ご参考）

＜US・グロース・ストック・ファンドのポートフォリオ状況＞
（現地2015年10月23日）

	業種	比率
1	情報技術	31.0%
2	一般消費財・サービス	21.2%
3	ヘルスケア	15.9%
4	生活必需品	11.4%
5	資本財・サービス	8.5%
6	金融	4.6%
7	素材	2.1%
8	電気通信サービス	2.0%
9	エネルギー	1.0%
10	公益事業	—
	上場投資信託証券	—
	現金等	2.2%
	合計	100.0%



＜US・グロース・ストック・ファンドのポートフォリオ状況＞
（現地2016年4月25日）

	業種	比率
1	情報技術	30.7%
2	一般消費財・サービス	23.5%
3	ヘルスケア	14.8%
4	生活必需品	11.1%
5	資本財・サービス	9.5%
6	金融	5.9%
7	素材	2.5%
8	エネルギー	1.6%
9	電気通信サービス	—
10	公益事業	—
	上場投資信託証券	—
	現金等	0.3%
	合計	100.0%

（注）比率はUS・グロース・ストック・ファンド全体の純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。詳しくは、後記「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。

〈マネー・ポートフォリオ マザーファンド〉

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、保有債券の評価額上昇が基準価額の上昇に寄与したものの、運用資金に対するマイナス金利適用開始の影響を受けたことから、期末の基準価額は期初と同水準となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第10期
	2015年10月27日～2016年4月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,657

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<US成長株オープン（円ヘッジなしコース）>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）受益証券を主要投資対象とし、マネー・ポートフォリオマザーファンド受益証券への投資も行います。

<US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）>

◎運用環境の見直し

- ・米国では、デフレ圧力と中央銀行の積極的な金融政策に対する姿勢のせめぎ合いにより、これまで見られなかった長い景気循環の周期が引き起こされています。過去7年間、FRBが続けてきた政策はリスク資産が選好されやすい市場環境であったものの、今後の景気循環においては注視する必要があります。企業収益を見る上で重要な指標である購買担当者指数（PMI）は、足元の堅調さを示しているものの、今後の持続性にとって米ドル高が逆風になる可能性があります。また、米国経済は現在、景気上昇サイクルの後半を迎えており、この先の企業収益の急激な加速については懐疑的な見方を持っています。このような状況下こそ銘柄選別が重要になるとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行います。
- ・時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行います。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。
- ・米国およびグローバルな経済動向を注視しつつ、魅力的な成長見通しを有していると思われる企業を引き続き選好し、規律あるリサーチを重視した投資スタンスを継続していく方針です。

（注）当記載は、US・グロース・ストック・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

<マネー・ポートフォリオ マザーファンド>

◎運用環境の見直し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和と政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

（2015年10月27日～2016年4月26日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	121円 (39) (78) (3)	0.583% (0.189) (0.378) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数） ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	122	0.588	
期中の平均基準価額は、20,696円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月27日～2016年4月26日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	US・グロス・ストック・ファンド (USDクラス)	千口 91,275	千円 140,313	千口 88,156	千円 133,082

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月27日～2016年4月26日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

（2016年4月26日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
US・グロス・ストック・ファンド（USDクラス）	千口 1,199,754	千口 1,202,873	千円 1,703,148	% 99.0
合 計	1,199,754	1,202,873	1,703,148	99.0

（注）比率はUS成長株オープン（円ヘッジなしコース）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	
マネー・ポートフォリオ マザーファンド	千口 0.996	千口 0.996	千円 1	

○投資信託財産の構成

（2016年4月26日現在）

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
投資信託受益証券	千円 1,703,148	% 98.4	
マネー・ポートフォリオ マザーファンド	1	0.0	
コール・ローン等、その他	27,693	1.6	
投資信託財産総額	1,730,842	100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年4月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,730,842,581
コール・ローン等	27,045,306
投資信託受益証券(評価額)	1,703,148,185
マネー・ポートフォリオ マザーファンド(評価額)	1,000
未収入金	648,090
(B) 負債	10,400,055
未払信託報酬	10,304,643
未払利息	59
その他未払費用	95,353
(C) 純資産総額(A-B)	1,720,442,526
元本	872,932,093
次期繰越損益金	847,510,433
(D) 受益権総口数	872,932,093口
1万円当たり基準価額(C/D)	19,709円

<注記事項>

①期首元本額	872,001,401円
期中追加設定元本額	78,964,671円
期中一部解約元本額	78,033,979円
また、1口当たり純資産額は、期末1.9709円です。	

②分配金の計算過程

項 目	2015年10月27日～ 2016年4月26日
費用控除後の配当等収益額	1,424,303円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	438,315,064円
分配準備積立金額	490,554,913円
当ファンドの分配対象収益額	930,294,280円
1万円当たり収益分配対象額	10,657円
1万円当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2015年10月27日～2016年4月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,824,289
受取配当金	11,821,739
受取利息	3,098
支払利息	△ 548
(B) 有価証券売買損益	△169,888,545
売買益	6,808,616
売買損	△176,697,161
(C) 信託報酬等	△ 10,399,996
(D) 当期損益金(A+B+C)	△168,464,252
(E) 前期繰越損益金	477,624,519
(F) 追加信託差損益金	538,350,166
(配当等相当額)	(438,315,064)
(売買損益相当額)	(100,035,102)
(G) 計(D+E+F)	847,510,433
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	847,510,433
追加信託差損益金	538,350,166
(配当等相当額)	(438,315,064)
(売買損益相当額)	(100,035,102)
分配準備積立金	491,979,216
繰越損益金	△182,818,949

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われず。））の税率が適用されます。

指数に関して

○投資環境についてで用いた指数

※Russell 1000 Growth Indexに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

G I C S（世界産業分類基準）について

Global Industry Classification Standard（“G I C S”）は、MSCI Inc.（以下MSCI）とThe McGraw-Hill Companies, Inc.の事業部門であるStandard & Poor's（以下S & P）が開発し、両者が排他的知的財産および商標を有しています。三菱UFJ国際投信は、許諾を得て利用しています。G I C SおよびG I C Sの基準および分類作業に関連したMSCIおよびS & Pとその関係会社あるいは第三者（以下、MSCIおよびS & Pとその関係会社）は、当該基準および分類（あるいは、これらを利用した結果）に関して何らかの保証や表明を行うものではありません。また、MSCIおよびS & Pとその関係会社は、G I C Sの獨創性、正確性、完全性、販売可能性や特定の利用目的に対する適合性等を保証するものではありません。

上記のいずれをも制限することなく、いかなる場合においても、MSCIおよびS & Pとその関係会社は、損害が発生する可能性を知悉していた場合であっても、直接的な損害、間接的な損害、特別な損害、懲罰的損害賠償、結果としての損害、その他の損害（逸失利益を含む）について、その責を負いません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年4月26日現在）

<マネー・ポートフォリオ マザーファンド>

2016年4月26日現在、有価証券の組み入れはありません。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、US成長株オープン（円ヘッジなしコース）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）
運 用 方 針	<p>1. 時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式等の組入比率は原則として高位を維持します。 ・個別銘柄への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の5%または参考指数（Russell 1000 Growth Index）における構成比+3%の大きい方の範囲内とします。 ・業種別の投資割合は、原則として参考指数の業種構成比から±3%の範囲内とします。 ・米国預託証券および上場投資信託証券への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の各10%以内とします。 <p>2. 市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。</p>
投資顧問会社	ザ・ボストン・カンパニー・アセット・マネジメント (The Boston Company Asset Management, LLC)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2011年6月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

US・グロース・ストック・ファンド

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2015年3月31日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益		
受取配当金 (外国税額控除後)	\$	190,605
その他の収益		134
投資収益合計		<u>190,739</u>
費用		
運用受託報酬		118,643
専門家報酬		53,944
会計処理および管理手数料		50,572
保管費用		32,278
受託者報酬		17,585
名義書換事務代行手数料		9,589
その他の費用		4,120
登録手数料		1,681
費用合計		<u>288,412</u>
投資純損失		<u>(97,673)</u>
実現および未実現損益：		
実現損益：		
投資有価証券		3,543,017
外国通貨取引および為替予約取引		(192,076)
実現純損益		<u>3,350,941</u>
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		(1,428,731)
外国通貨取引および為替予約取引		6,534
未実現評価損益の純変動		<u>(1,422,197)</u>
実現および未実現損益 (純額)		<u>1,928,744</u>
営業活動による純資産の増減 (純額)	\$	<u>1,831,071</u>

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 投資明細表

(2015年3月31日現在)

株式数	銘柄名	公正価値
	COMMON STOCKS (99.9%)	
	IRELAND (2.1%)	
	COMPUTERS (1.0%)	
2,858	Accenture PLC Class A	\$ 267,766
	PHARMACEUTICALS (1.1%)	
1,799	Perrigo Co. PLC	297,825
	TOTAL IRELAND (Cost \$496,811)	<u>565,591</u>
	SINGAPORE (0.6%)	
	SEMICONDUCTORS (0.6%)	
1,445	Avago Technologies, Ltd. Class A	183,486
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$194,312)	<u>183,486</u>
	UNITED KINGDOM (1.9%)	
	APPAREL (1.0%)	
4,238	Michael Kors Holdings, Ltd.	278,648
	AUTO PARTS & EQUIPMENT (0.9%)	
2,990	Delphi Automotive PLC	238,423
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost \$465,591)	<u>517,071</u>
	UNITED STATES (95.3%)	
	ADVERTISING (1.1%)	
13,064	Interpublic Group of Cos, Inc.	288,976
	AEROSPACE/DEFENSE (2.4%)	
2,634	Raytheon Co.	287,765
3,136	United Technologies Corp.	367,539
		<u>655,304</u>
	APPAREL (3.3%)	
8,392	Hanesbrands, Inc.	281,216
4,327	NIKE, Inc. Class B	434,128
2,159	Under Armour, Inc. Class A	174,339
		<u>889,683</u>
	AUTO MANUFACTURERS (0.6%)	
788	Tesla Motors, Inc.	148,751
	BEVERAGES (4.2%)	
8,396	Coca-Cola Enterprises, Inc.	371,103
8,091	PepsiCo, Inc.	773,661
		<u>1,144,764</u>
	BIOTECHNOLOGY (7.9%)	
1,904	Alexion Pharmaceuticals, Inc.	329,963
1,181	Biogen, Inc.	498,665
3,897	Celgene Corp.	449,246
1,521	Illumina, Inc.	282,358
621	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.	280,369
2,624	Vertex Pharmaceuticals, Inc.	309,553
		<u>2,150,154</u>
	BUILDING MATERIALS (1.0%)	
1,957	Martin Marietta Materials, Inc.	273,589
	CHEMICALS (2.0%)	
5,734	Dow Chemical Co.	275,117
2,287	Praxair, Inc.	276,132
		<u>551,249</u>
	COMPUTERS (8.7%)	
16,414	Apple, Inc.	2,042,394
5,244	Cognizant Technology Solutions Corp. Class A	327,173
		<u>2,369,567</u>
	COSMETICS/PERSONAL CARE (1.5%)	
5,009	Estee Lauder Cos, Inc. Class A	416,548
	DIVERSIFIED FINANCIAL SERVICES (6.6%)	
2,567	Ameriprise Financial, Inc.	335,866
919	BlackRock, Inc. Class A	336,207

(2015年3月31日現在)

株式数	銘柄名	公正価値
	COMMON STOCKS (99.9%) (continued)	
	UNITED STATES (95.3%) (continued)	
	DIVERSIFIED FINANCIAL SERVICES (6.6%) (continued)	
1,610	Intercontinental Exchange, Inc.	\$ 375,565
11,216	Visa, Inc. Class A	753,639
		<u>1,781,277</u>
	ELECTRONICS (3.4%)	
5,409	Honeywell International, Inc.	564,213
8,236	Tyco International PLC	354,642
		<u>918,855</u>
	FOOD (2.6%)	
8,924	ConAgra Foods, Inc.	325,994
10,389	Mondelez International, Inc. Class A	374,939
		<u>700,933</u>
	HEALTHCARE-PRODUCTS (1.1%)	
15,958	Boston Scientific Corp.	283,255
	HEALTHCARE-SERVICES (1.4%)	
3,134	UnitedHealth Group, Inc.	370,721
	INSURANCE (1.3%)	
6,273	Marsh & McLennan Cos, Inc.	351,853
	INTERNET (9.3%)	
9,646	Facebook, Inc. Class A	793,046
937	Google, Inc. Class A	519,754
783	Google, Inc. Class C	429,084
1,215	LinkedIn Corp. Class A	303,580
402	Priceline.com, Inc.	467,988
		<u>2,513,452</u>
	MACHINERY-DIVERSIFIED (1.2%)	
2,344	Cummins, Inc.	324,972
	MEDIA (3.9%)	
3,081	AMC Networks, Inc. Class A	236,128
5,715	CBS Corp. Class B	346,500
8,137	Comcast Corp. Class A	459,496
		<u>1,042,124</u>
	METAL FABRICATE/HARDWARE (1.3%)	
1,694	Precision Castparts Corp.	355,740
	MISCELLANEOUS MANUFACTURERS (1.2%)	
3,944	Danaher Corp.	334,846
	OIL & GAS (1.4%)	
4,233	EOG Resources, Inc.	388,124
	OIL & GAS SERVICES (1.9%)	
6,202	Schlumberger, Ltd.	517,495
	PHARMACEUTICALS (4.9%)	
1,663	Actavis PLC	494,942
5,748	Bristol-Myers Squibb Co.	370,746
2,042	McKesson Corp.	461,900
		<u>1,327,588</u>
	PIPELINES (1.0%)	
6,551	Kinder Morgan, Inc.	275,535
	RETAIL (7.0%)	
3,768	CVS Health Corp.	388,895
3,385	Dollar General Corp.	255,161
3,369	Dollar Tree, Inc.	273,378
5,847	Home Depot, Inc.	664,278
2,112	Ulta Salon Cosmetics & Fragrance, Inc.	318,595
		<u>1,900,307</u>
	SOFTWARE (7.7%)	
3,888	Adobe Systems, Inc.	287,479
3,592	Akamai Technologies, Inc.	255,194
4,754	Intuit, Inc.	460,948
15,226	Oracle Corp.	657,002

(2015年3月31日現在)

株式数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	COMMON STOCKS (99.9%) (continued)		
	UNITED STATES (95.3%) (continued)		
	SOFTWARE (7.7%) (continued)		
6,509	Salesforce.com, Inc.		\$ 434,866
			2,095,489
	TELECOMMUNICATIONS (4.3%)		
7,078	Fortinet, Inc.		247,376
19,130	Verizon Communications, Inc.		930,292
			1,177,668
	TRANSPORTATION (1.1%)		
1,731	FedEx Corp.		286,394
	TOTAL UNITED STATES (Cost \$22,151,884)		25,835,213
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$23,308,598)		\$ 27,101,361
元本金額			
	SHORT-TERM INVESTMENT (0.2%)		
	GRAND CAYMAN (0.2%)		
	TIME DEPOSIT (0.2%)		
USD 47,148	BNP Paribas S.A. 0.03% due 04/01/15		47,148
	TOTAL TIME DEPOSIT		47,148
	TOTAL GRAND CAYMAN (Cost \$47,148)		47,148
	TOTAL SHORT-TERM INVESTMENT (Cost \$47,148)		47,148
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$23,355,746)	100.1%	\$ 27,148,509
	LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS	(0.1)	(33,237)
	NET ASSETS	100.0%	\$ 27,115,272

ファンドレベルでの為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,849,549	04/02/2015	USD	13,737	\$ 17	\$ -	17
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,744,972	04/06/2015	USD	14,559	-	(8)	(8)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	36,140	04/01/2015	JPY	4,310,000	203	-	203
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	45,968	04/02/2015	JPY	5,520,000	-	(57)	(57)
						\$ 220	\$ (65)	155

J P Yクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	122,271,853	05/07/2015	USD	1,026,519	\$ -	\$ (6,486)	(6,486)

(2015年3月31日現在)

デリバティブ商品の額

店頭デリバティブ	取引相手	デリバティブ		受取担保金	差入担保金	純額*
		資産の額	負債の額			
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co..	\$ 220	\$ (6,551)	\$ -	\$ -	\$ (6,331)
合計		<u>\$ 220</u>	<u>\$ (6,551)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ (6,331)</u>

*Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・ポートフォリオ マザーファンド

《第12期》決算日2015年11月24日

[計算期間：2015年5月23日～2015年11月24日]

「マネー・ポートフォリオ マザーファンド」は、11月24日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債を主要投資対象として、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債 券		純資産額
			組入比率	先物比率	
	円	%	%	%	百万円
8期(2013年11月22日)	10,035	0.0	66.7	—	29
9期(2014年5月22日)	10,037	0.0	70.4	—	28
10期(2014年11月25日)	10,039	0.0	76.9	—	26
11期(2015年5月22日)	10,040	0.0	76.7	—	13
12期(2015年11月24日)	10,041	0.0	68.3	—	10

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債 券	
			組入比率	先物比率
(期首) 2015年5月22日	円 10,040	% —	% 76.7	% —
5月末	10,041	0.0	92.5	—
6月末	10,041	0.0	92.5	—
7月末	10,041	0.0	92.5	—
8月末	10,041	0.0	96.9	—
9月末	10,040	0.0	68.5	—
10月末	10,039	△0.0	68.3	—
(期末) 2015年11月24日	10,041	0.0	68.3	—

(注) 騰落率は期首比。

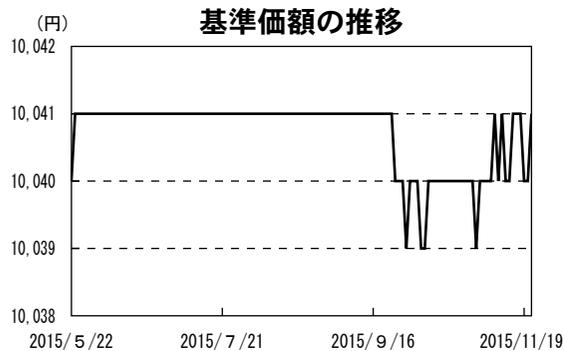
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第12期：2015/5/23～2015/11/24)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ0.01%の上昇となりました。
---------	---------------------------



基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有債券の評価額の上昇が、基準価額のプラスに寄与しました。
------	-------------------------------

投資環境について

(第12期：2015/5/23～2015/11/24)

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはおおむね0%を下回る水準で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、金利低下を受けて保有債券の評価額が上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年5月23日～2015年11月24日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2015年5月23日～2015年11月24日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 527,095	千円 510,030 (20,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年5月23日～2015年11月24日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年11月24日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 7,000	千円 7,044	% 68.3	% -	% -	% -	% 68.3	% 68.3
合計	7,000	7,044	68.3	-	-	-	68.3	68.3

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第279回利付国債(10年)	2.0	7,000	7,044	2016/3/20	
合計		7,000	7,044		

○投資信託財産の構成

(2015年11月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,044	% 68.3
コール・ローン等、その他	3,275	31.7
投資信託財産総額	10,319	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,319,740
コール・ローン等	3,250,318
公社債(評価額)	7,044,520
未収利息	21,067
前払費用	3,835
(B) 純資産総額(A)	10,319,740
元本	10,277,737
次期繰越損益金	42,003
(C) 受益権総口数	10,277,737口
1万口当たり基準価額(B/C)	10,041円

<注記事項>

- ①期首元本額 12,990,636円
 期中追加設定元本額 10,662円
 期中一部解約元本額 2,723,561円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マネー・ポートフォリオ・ファンド	10,275,745円
US成長株オープン(円ヘッジなしコース)	996円
US成長株オープン(円ヘッジありコース)	996円
合計	10,277,737円

[お知らせ]

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
 ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。

○損益の状況 (2015年5月23日～2015年11月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	21,748
受取利息	21,748
(B) 有価証券売買損益	△21,330
売買益	20
売買損	△21,350
(C) 当期損益金(A+B)	418
(D) 前期繰越損益金	52,484
(E) 追加信託差損益金	24
(F) 解約差損益金	△10,923
(G) 計(C+D+E+F)	42,003
次期繰越損益金(G)	42,003

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。